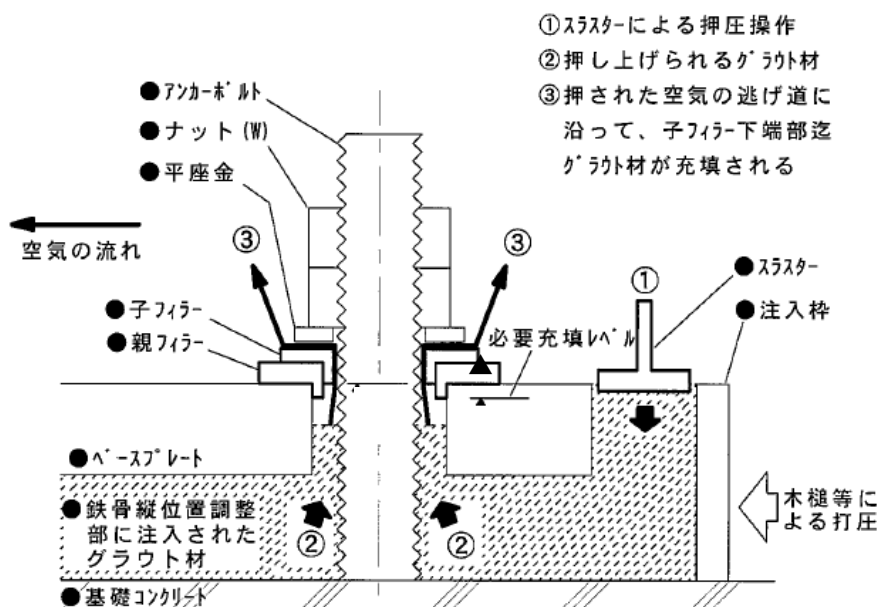


# 親子フィルターQ [グラウト材が充填される原理] (株)構造工学研究所

▼親子フィルターQの子フィルターには、その上面に空気抜きのための溝がある。(下図参照)

▼スラスター操作によってボルト孔の空隙部に残存している空気が押しだされグラウト材の充填がなされる。

## 〈1〉スラスターによる押圧工法 (PAT 品使用)



※子フィルター上面に空気抜き溝。ここを通る空気の移動で子フィルター最下端部まで充填(子フィルター上面の空気溝が詰まっていないことを確認する)

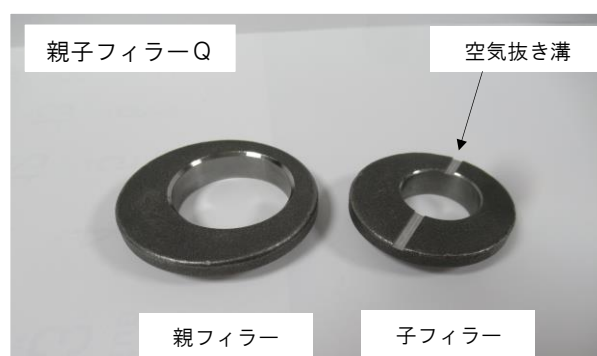
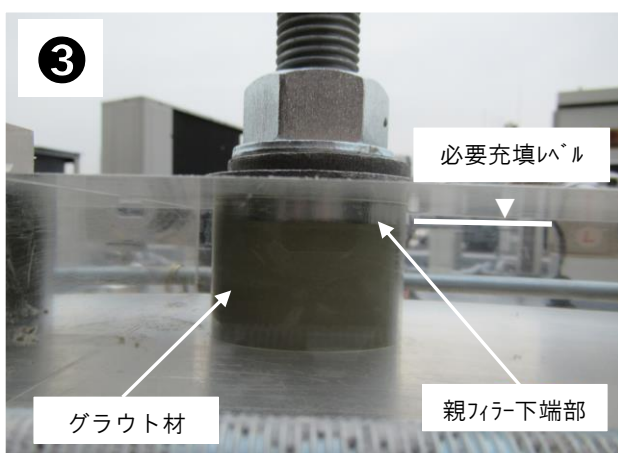
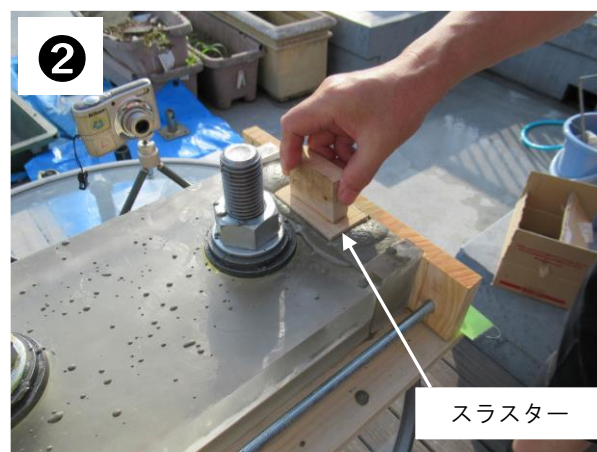
①調整(混練)したグラウト材をベースプレートと注入枠の間から流し込む。

その際、木槌等で注入枠をたたくことにより、グラウト材の流動性が増し、充填しやすくなる。

②(隙間が50mmの場合)幅48mm、長さ100~200mmの長さのスラスターで、個々のアンカーボルト近傍のグラウト材の上面を素早く押す。(数回)

③その結果として親子フィルター下の空隙部(未充填部分)の空気が、子フィルター上面にある空気抜き溝を通して押しだされる。それにより、子フィルターの最下端部近傍まで、グラウト材は充填される。

●子フィルター上面の空気抜き溝からのグラウト材の逸出はないが、機能上必要とされる親フィルター最下端部までのグラウト材の充填は確保される。



### [ご注意]

グラウト材(OFQグラウト)は専用品で、他のグラウト材を使用することはできません